

|              |   |      |           |
|--------------|---|------|-----------|
| 質問者氏名        | 杉谷 伸夫   | 所属会派 | 会派に属さない議員 |
| 表 題          | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 10px;">1</div> <b>ゼロカーボンシティの実現に向けた市長の覚悟を問う</b>  |      |           |
| 趣 旨          | <p>ゼロカーボン社会の実現へ、世界は本気で動き出しています。向日市ゼロカーボンシティ宣言は、取り組みスタートの宣言であり、必ず実現しなければなりません。取り組みについて、市長の覚悟を伺います。</p>   |      |           |
| 事 項 (質問・提案等) | <p>先日欧州議会は、2035年に域内でガソリン車やディーゼル車の新車販売を事実上禁止する法案を採択しました。加盟国の正式承認を経て施行されます。ハイブリッド車も販売禁止となります。2030年の温室効果ガス半減、2050年のゼロカーボン達成へ、世界は大きく動いています。</p> <p>世界の動きに遅れているとはいえ、日本政府も脱炭素地域作り支援を打ち出し、各地で先進的な取り組みが始められています。</p> <p>(1) 向日市は、地域のゼロカーボン実現にむけてどう取り組んでいくか</p> <p>「できることからコツコツと」では、目標はまったく達成できません。本質的な転換を進める取り組みが求められています。とりわけ向日市のような小さな人口密集都市で、ゼロカーボンを実現していくことは、非常に大きな挑戦です。</p> <p>一方地域で再エネ電気を創り、地域で使う社会作りをめざす取り組みも進んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのための地域電力、自治体電力の創設</li> <li>・ 自治体PPA事業による、公共施設への太陽光発電の設置推進</li> <li>・ 国も様々な補助金制度を準備しています。</li> </ul> <p>そこで以下について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①向日市で、どのような再エネの創出が可能か調査研究を進めることについて</li> <li>②向日市で、再エネのゾーニングを設定することについて</li> <li>③脱炭素先行地域、または脱炭素重点加速化事業に参加することについて</li> <li>④現在の延長でない新たな取り組みを進めるための、組織・人員体制の整備について</li> </ol> <p>(2) 市民とともに取り組むことについて</p> <p>取り組みには、市民の積極的な参画・協力が不可欠です。昨秋策定された第3次向日市環境基本計画の取り組みの基本目標4で「持続可能な社会の担い手の育成」があげら</p> |      |           |

|  |       |      |           |
|--|-------|------|-----------|
| 質問者氏名  | 杉谷 伸夫 | 所属会派 | 会派に属さない議員 |
| <p>表 題</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-left: 20px;">1</div> <span style="margin-left: 10px;"><b>ゼロカーボンシティの実現に向けた市長の覚悟を問う</b></span> |       |      |           |
| <p>事 項 (質問・提案等)</p> <p>れ、「市民・事業者・市・市民団体の連携」がうたわれています。市民との連携について、どう進めていく考えでしょうか。</p> <p>(3) 当面の向日市公共施設の電力調達方針について<br/>市の電力調達においても、再エネ利用拡大の基本方針が重要と考えます。来年度の電力調達方針について、どのようにお考えでしょうか。</p>  |       |      |           |

|              |   |      |           |
|--------------|---|------|-----------|
| 質問者氏名        | 杉谷 伸夫   | 所属会派 | 会派に属さない議員 |
| 表 題          | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 10px;">2</div> 乙訓環境衛生組合の一般廃棄物処理施設整備基本構想について   |      |           |
| 趣 旨          | <p>昨年3月に、乙訓2市1町で構成する一部事務組合である乙訓環境衛生組合が「一般廃棄物処理施設整備基本構想」を策定しました。しかしその内容は市民にほとんど知らされていません。本市への影響と今後について伺います。</p>  |      |           |
| 事 項 (質問・提案等) | <p>この基本構想は、乙訓2市1町のごみ処理施設（焼却施設、粗大ごみ処理施設、資源化施設、し尿処理施設）のすべてを建て替えるという、組合発足以来最大規模の事業です。今後数十年にわたり乙訓地域のごみ処理のあり方を左右するとともに、向日市の財政にも大きな影響があるため、以下質問します。</p> <p>(1) 現在想定されているごみ処理施設整備のスケジュール、事業費規模と本市財政への影響について</p> <p>(2) 基本構想の位置づけについて説明してください。今後事業計画策定、事業実施までに、市民意見が反映される機会はあるでしょうか。<br/>乙訓環境衛生組合の事業ではありますが、財源は2市1町の市民が負担します。しかし市民には、この構想の存在すら、ほぼ全く伝わっていません。市民に情報を伝え、市民が意見を述べる機会を保障する必要があると考えます。市の考えをお聞きします。</p> <p>(3) 向日市のごみ政策と財政に大きな影響を与えるので、計画策定の節目節目に、向日市議会に報告・説明頂きたいが、いかがでしょうか。</p> |      |           |

|              |   |      |           |
|--------------|---|------|-----------|
| 質問者氏名        | 杉谷 伸夫   | 所属会派 | 会派に属さない議員 |
| 表 題          | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 10px;">3</div> <b>生活困窮者への支援と、なんでも相談窓口の設置について</b>  |      |           |
| 趣 旨          | <p>新型コロナウイルスの影響に加え、物価高騰により生活に困難を抱える市民が増えています。生活福祉資金特例貸付の返済が1月から始まったが、返済できない方が多数にのぼると聞きます。この方々への向日市の支援策を聞きます。また市民が気軽に相談できる「福祉なんでも相談窓口」の設置について検討頂けないか。</p>  |      |           |
| 事 項 (質問・提案等) | <p>(1) 生活福祉資金の特例貸付の返済の状況と、返済困難者への支援について</p> <p>新型コロナウイルスの影響による生活困窮者支援のために実施されてきた生活福祉資金特例貸付は、昨年末で終了しましたが、その貸付件数は報道によると全国で335万件と言われます。その返済が今年1月から始まりました。最大で200万円の負債を抱えた膨大な数の生活困窮者の返済事業であり、当初より多くの方々が返済困難に陥ると危惧されていました。そこで以下お伺いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①今年1月から始まった本市における返済の状況</li> <li>②返済免除、返済猶予、その他返済困難者に対する相談支援の現状について。こうした方々に対して、どのようなアプローチをしているのか。</li> <li>③12月議会では、返済困難者などには新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援給付金の案内や、家計改善支援事業を実施していると答弁がありました。その実績について</li> <li>④特例貸付の返済困難の相談から、生活保護の相談につながった件数、保護開始の件数</li> <li>⑤全国的に、生活困窮される方が顕在化している一方で、生活保護の利用は増えていないようです。その原因と、生活保護の利用促進をはかることについて</li> </ul> <p>(2) 福祉なんでも相談窓口を設置することについて</p> <p>特例貸付の返済困難者だけでなく、多くの市民が生活困難の課題を抱えています。そしてその課題は、ひきこもり当事者と同居の親が高齢化して孤立する8050問題などのように、複合的で多様となっています。生活に困難を抱える市民に気軽に相談頂き、制度の垣根を越えて対応できる「福祉なんでも相談窓口」の設置を検討いただけないでしょうか。</p> |      |           |